

Jsaas news

JAPAN SHIRTS APPAREL ASSOCIATION

編集・発行 (協)日本シャツアパレル協会

〒130-0026 東京都墨田区両国2-17-4 (小池事務所1階) Tel 03(3631)9443(代) Fax 03(3631)9441
 大阪支部 〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7 (船場センタービル 7号館2階 太陽繊維(株)内) Tel 06(4708)8119(代) Fax 06(4708)8139
 名古屋支部 〒460-0003 名古屋市中区錦1-13-31 (ミツワビル2階 ミツワ(株)内) Tel 052(202)1151(代) Fax 052(202)1152

「シャツの日」は、毎年10月第一日曜日です

(シャツの日の由来)

日本人が初めてシャツの製造を開始したのは、明治10年(1877年)10月のこと。ミシンの輸入業を営んでいた横浜弁天町、大和屋の主、石川清左衛門がシャツ専門店に転業、国産シャツの製造に乗り出した。同じころ、東京芝の野村辰二郎も独自にシャツ製造に着手した。

当時は、日本の洋装の歴史は惣明期で、シャツづくりもまったくゼロから出発。外人の着ていたシャツを分解し、仕立て方を研究したとのこと。

日本人によって、初めてワイシャツが作られた明治10年(1877年)10月にちなんで、日本ワイシャツ連合会(現:日本シャツアパレル協会)では、昭和54年(1979年)から毎年10月の第一日曜日を「シャツの日」と定めて、現在に至っています。

※下記ホームページをご覧ください。

協同組合 日本シャツアパレル協会 <https://kk-jsaa.jp>

(ファッションのキーをにぎるシャツ)

シャツはメンズウェア・レディースウェアの中でも着用機会の多いファッションの中心的アイテムです。

最もドレスシーとされるフォーマルシャツからスポーティでアクティブなスポーツシャツに至るまで、老若男女を問わず、また近年は女性の目覚ましい社会進出により、仕事でシャツを着用する機会も増加し、益々ファッションにおけるシャツの重要性は高まりつつあります。

2005年からスタートしたクールビズ・ウォームビズの軽装化はシャツを取り巻く環境を大きく変化させました。従来の堅苦しいタイプに限定せず、着る人の個性を生かしたりリラックス感のあるシャツやニットの素材のシャツ、またオーダービジネスの敷居も低くなり、シャツのニーズは高まるばかりです。

スーツやネクタイとのコーディネートもさることながら、ファッションブルな関連小物との組み合わせ等、着る楽しみ、選ぶ楽しみを含めてスタイリングの幅は大きく広がっています。

シャツを着用の面から分類すると、ドレスシャツとカジュアルシャツに大きく分けることができます。

ドレスシャツは日本でも古くからワイシャツ(メンズの場合)と呼ばれて広く親しまれています。関西ではカッターシャツと呼ばれることがあります。ドレスシャツ・ワイシャツ・カッターシャツは、ほぼ同じ意味の言葉です。ドレスシャツはスーツやジャケット、ネクタイとの組み合わせを前提として主にビジネスシーンで着用することをイメージしたものです。

これに対してカジュアルシャツは、スーツやネクタイとのコーディネートを前提とせずビジネス以外の目的で着用するためにデザインされたシャツです。また、ビジネス上の監修の変化とライフスタイルの変化により、ファッションも多様化・個性化し、衿やカフスのバリエーションも増え、さらにシルエットの変化や素材の進化も伴って、ノータイ(ネクタイ)用のシャツというカテゴリーも定着しております。

「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関する J I S 開発」 今年度の実施計画

1. 本年度の事業目標

本年度は、3年事業の2年度にあたり、ISO 3758の改正内容を整理しつつ、前年度に既にJIS L 0001改正内容を検討した新規洗濯溶剤等を除き、アイロン仕上げ処理記号の新規追加及び内容変更、洗濯処理記号の変更内容等を分析し、国内における選択等の取扱実態を踏まえつつ、JIS L 0001における改正項目等を検討する。また、JIS L 0001の改正に関して、必要な検証試験を国内関係機関で実施して洗濯時における繊維製品への影響等を検証・整理し、J I S素案を作成することを目標とする。

2. 本年度の事業内容及び実施方法

(1) 委員会

① 標準化委員

JIS L 0001の改正は、幅広い関係者の理解を得て適切に実施される内容とすることが重要であることから、『標準化委員会』は、JIS L 0001の表示に基づき繊維製品を取り扱うメーカー、販売・流通事業者、試験期間、消費者及びクリーニング事業者等から構成し、第1回『標準化委員会』を7月に開催し、本年度の事業内容・方向性及びスケジュール等を共有・検討するとともに『技術分科会』にて令和3年度に検討するJ I S改正に係る課題等を確認・整理する。また、第2回『標準化委員会』は、来年1月頃に開催し、『技術分科会』等で整理したJIS L 0001改正内容とその検証試験結果、J I S素案を検討して関係者の理解を得てJ I S見直しの素案としてとりまとめる。

② 技術分科会

『技術分科会』は、JIS L 0001の改正において技術的検討を実施するため、技術的知見を有するメーカー、販売・流通事業者、試験機関及びクリーニング事業者等から構成し、第1回『技術分科会』は、ISO/TC38/WG12の動向を踏まえて9月上旬に開催し、ISO 3758改正内容を整理し、JIS L 0001の改正内容を検討するとともにその検証試験を企画・実施する。また、第2回『技術分科会』は、12月頃に開催し、検証試験結果について分析し、アイロン仕上げ処理記号等に係るJ I S改正の素案を作成する。

(2) JIS L 0001 改正内容の検討

令和3年度は、ISO 3758の改訂内容より、アイロン仕上げ処理記号の変更内容、洗濯処理記号の変更内容等を確認しつつ、アイロン仕上げ処理記号における処理温度の変更、スチーム有無の変更及び記号の変更、洗濯処理記号における手洗いをシミュレートした記号追加、対応する試験方法等に関して国内の洗濯実態を踏まえて適切なJIS L 0001の改正内容について検討する。また、JIS L 0001の改正内容に基づくアイロン処理等の必要な検証試験を実施して、JIS L 0001の改正内容を修正する。

(3) 検証試験

① 検証試験の実施

令和2年度の検証試験に関しては、JIS L 0001改正内容のうち、アイロン仕上げ処理記号、洗濯処理記号等の変更内容に関して必要な検証試験を企画し、検証対象とする繊維製品・素材・色物などの選定、参加試験機関の選定、判断基準等の手順書の策定等を行い、検証試験自体は、9月頃より複数の繊維関係試験機関等へ外注により実施する。

② 検証試験の結果分析

検証試験の結果は、12月頃までにとりまとめて分析を行い、JIS L 0001の必要な改正内容として反映させる。

(4) 報告書の作成

上記(1)から(3)までの結果を報告書としてとりまとめる。

「繊維製品の形態安定性に係る画像解析試験方法に関するJIS開発」 今年度の実施計画

1. 本年度の事業目標

本年度は、3年事業の2年目にあたり、前年度に開発したシャツのしわ画像情報の解析・判定に関する基本技術をもとに、形態安定性を有する様々な繊維製品の中で画像読み取り等の難しい繊維製品等に対しても的確な画像解析を確保する適切な条件設定、画像データ処理の補正等の検討を行い、形態安定加工シャツの洗濯前後のシワ状態について画像解析試験の判定結果と目視による試験の判定結果が同等となるように解析精度向上を図り、JIS素案としてとりまとめることを目標とする。

2. 本年度の事業内容及び実施方法

(1) 委員会

① 標準化委員会

『第1回標準化委員会』は、8月上旬に開催し、本年度事業の内容・スケジュール等を関係者で共有するとともに、『技術分科会』で検討する技術課題等を整理し、本事業を適切に推進する。また、『第2回標準化委員会』は、来年1月頃に開催し、『技術分科会』等で整理された、しわ画像解析試験方法における標準的試験方法とその検証試験結果、JIS要素を検討してユーザー等関係者の理解も得てJIS素案をとりまとめる。

② 技術分科会

『第1回技術分科会』は9月上旬に開催し、しわ画像解析試験方法の標準的試験方法について検討、手順等を取りまとめるとともにその検証試験を企画する。また、『第2回技術分科会』は12月頃に開催し、検証試験結果について分析し、標準的試験方法を取りまとめ、JIS素案を作成する。

(2) しわ画像解析試験方法の標準開発

本年度は、しわ画像解析試験方法の標準的試験方法を取りまとめるため、形態安定性を有する様々な繊維製品の中でしわ画像を読み取りにくい色、デザイン及び素材等の繊維製品に対する適切な条件設定等の検討、画像データ処理に係る編集ソフトに応じた必要な補正等を検討する。また、対象とする生地及び製品に対する適用範囲を整理し、画像解析の判断結果（シワカット指数）と目視による試験の判定結果の同等性についてシワカット指数範囲等の検討による精度向上を図り、信頼ある標準的試験方法としてのJIS素案を作成する。

(3) 検証試験

① 検証試験の実施

検証試験に関して、標準的試験方法として開発したしわ画像解析試験方法をもとに検証試験手順書等を作成し、しわ画像を読み取りにくい色、デザイン及び素材等の繊維製品を検討、検証試料として抽出する。検証試験は、複数の試験機関が同一の検証試料に対して試験を行い、試験の信頼性を確認する。

② 検証試験の結果分析

検証試験結果を整理し、技術分科会等において試験の精度等の分析を行い、標準的試験方法として必要な見直しを図る。

(4) 報告書作成

上記(1)から(3)までの結果を報告書としてとりまとめる。

会議要旨

＜7月度委員会＞

- 1 今後の方針について
- (1) 「ワイシャツ縫製技能検定試験制度」について
「ワイシャツ縫製技能検定試験制度」について、今後、協会としての取組を検討することとした。
 - (2) 委員会、新メンバーについて
(1)の取組に伴い、生産関連のメンバー1名を加えることとし、人選は、理事長に一任することとした。
 - (3) SDGsについて
今後、協会としてSDGsを委員会で検討することとした。
 - (4) 6月「夏シャツの日」、10月「シャツの日」について
6月第一日曜日「夏シャツの日」、10月第一日曜日「シャツの日」について、今後イベント等を実施する方向で検討することとした。
まずは、10月第一日曜日「シャツの日」に現在のコロナ禍で何が出来るか検討することとした。

＜7月度役員会＞

- (1) 第68回通常総会報告
理事長より、第68回通常総会につき報告が行われ、詳細については、事務局長より説明が行われた。
- (2) 委員会編成について
理事長より、委員会編成について説明が行われ、全員一致で承認された。

- (3) 秋季ゴルフ大会について
秋季ゴルフ大会開催について、新型コロナウイルスの感染は減少していないが、東京地区は10月16日(土)、大阪地区は11月13日(土)に予定することとした。
※後日、中止といたしました。
- (4) 次回役員会日程
2021年10月19日(火) 13:30～ 場所は後日連絡。
- (5) その他
 - ①夏期休暇について
夏期休暇については、8/12(木)～8/16(月)の提案があり、了承された。
 - ②来年度総会日程の件
来年度総会日程について、2022年5月24日(火)に決定した。
 - ③委員会報告について
理事長より、7/8開催の委員会について説明があり、全員一致で了承された。
 - ④新規会員について
新規会員について、(株)フェールムラカミ、大貫繊維(株)2社が紹介され、全員一致で承認された、(8/1付)
 - ⑤新事務所の状況について
事務局長より、新事務所の状況について、説明が行われた。
 - ⑥KFCセミナーについて
KFCセミナーについて、現在の受講者状況の説明が行われた。

気になった記事

◎織研新聞「め・て・みみ」

「十年一昔」というが、一昔を感じるのに10年も必要としなくなった。今や働く世代のほとんどが利用しているスマートフォンだが、10年前の2011年、個人のスマホ保有率は15%にも満たなかった。

「5000万ユーザー獲得までにかかった年数」というデータが興味深い。自動車は62年、電話は50年、テレビは22年かかった。テクノロジーが個人のものになると普及の速度は上がる。携帯電話は12年、インターネット7年、フェイスブック3年、ツイッター2年、LINEは399日で達成した。

普及にかかる年月の短縮は、デジタル技術の開発・進化とともに、グローバル化の進展や世界人口の増加、中間所得層

の増加も後押しする。いずれにせよ変化のスピードは上がるばかり。

昨年末に日本語訳が出版された『2030年すべてが「加速」する世界に備えよ』が売れている。本書によるとAI(人工知能)、5G、VR(拡張現実)など個々に発展してきたテクノロジーが融合することで、変化の速度が一層上がる。買い物やエンターテインメント、教育、医療など身近な事例ごとに語られる未来図は、SF小説を読んでいるようだ。

こうした近未来の変化を、夢物語とみるか、恐ろしい変化として拒むか、新しいビジネスの好機ととらえるか。ゆっくりと考える時間はもうないようだ。

協会の動き(7～9月)

[7月]

- 1 J S A A ニュース311号発行
- 2 労働保険申告書提出
(向島労働基準監督署)
- 8 7月度委員会
(第一ホテル両国会議室)
- 13 7月度役員会
(第一ホテル両国会議室)
- 30 繊維評価技術協議会
(表示記号等に関するJIS開発)

[8月]

- 6 繊維評価技術協議会
(形態安定画像解析に関するJIS開発)

12～16 夏期休暇

- 31 東京都中小企業団体中央会来協

[9月]

- 1～7 KFCトレンドセミナー
(国際ファッションセンター)
- 2 繊維評価技術協議会技術分科会
(形態安定画像解析に関するJIS開発)
- 7 家表法・繊維規程改正に関する説明会
(オンライン開催)
- 9 マンションモデルルーム見学
(株)フジタ)

お知らせコーナー

◎10月度役員会

日時:10月19日(火)

場所:第一ホテル両国会議室

◎毎年10月の第一日曜日は「シャツの日」です。今年は3日です。

◎次号313号は、来年1月1日発行予定です。

新入会員紹介

次の会社が新規入会されましたので、よろしくお願ひ致します。

- ・株式会社フェールムラカミ
- ・大貫繊維株式会社